



与謝野町

第8号
平成20年5月25日

議会だより



今日から幼稚園
(三河内幼稚園入園式より)

総合計画、行革の本格実施へ――

新年度予算、全会一致

給与、報酬の引き下げ

太田マニフェスト 本格予算

総合計画 1年目

3月議会のようす

2月25日に議会運営委員会が開かれ、3月議会の提出議案や会期(3/30~3/28)の26日間)が協議された。

3月議会では、町長提出の新年度予算13件、補正予算10件、人事案件2件、条例案件13件など47議案が提出され、のべ113人が質疑、5人が討論するなど熱心な審議を行い、原案どおり可決された。また、議員提出議案では、議員報酬引き下げ条例が全会致で可決、「教育」要望の請願は、一部採択となった。一般質問は、16人の議員が町政について、それぞれの考えや思いを訴え、町長や教育長の見解を求めた。

さる2月6日に臨時会が開かれ、「福祉灯油」事業を含む補正予算4件、請負契約3件と、地方道路の財源確保に関する意見書が提出され、原案どおり可決した。



新年度予算の主な事業

〔新規〕

- 有線テレビ拡張計画策定……………4 5 9万円
- 妊婦健康診査助成事業……………5 2 7万円
- 観光振興ビジョン策定事業……………5 3 4万円
- B D F 燃料給油施設整備事業……………3 5 0万円
- 防災行政無線施設整備事業……………8 9 9万円
- 小中学校施設整備事業(耐震改修) ……2 億 5, 4 9 9万円
- 幼稚園施設整備事業……………9 0 0万円
- 民間住宅耐震診断補助事業……………1 1 2万円

〔継続・拡充〕

- 商工者金融支援事業……………2 億 6, 1 0 0万円
- 有害鳥獣対策……………1, 2 9 9万円
- 障害者福祉施設整備事業……………1, 0 3 6万円
- 障害者福祉計画策定事業……………3 0 5万円

〔予算の概要〕

新年度予算は総合計画と行政改革大綱、太田マニフェストに基づき、編成されたもので、厳しい財政運営を余儀なくされている。

予算編成になっている。

〔予算の審議経過〕

3月3日、本会議で新年度予算案の提案説明を受け、翌日から各常任委員会での審議が行なわれた。各委員会では各2~3日間にわたり詳細説明を受け、熱心に審議が行なわれた。

5日間にわたり、延べ36人から質疑があり、討論は2会派が行ない、全員賛成で原案どおり可決した。

質疑 全議員

賛成討論

日本共産党議員団

与謝野クラブ

伊藤 幸男

多田 正成

新年度予算

2008(平成20)年度

総合計画

行革大綱

行革元年 人件費カット

いよいよ着手 有線テレビ 全町へ拡張



加悦中耐震診断は

信頼できるか

服部 博和 議員

質問 業者の見解が180度変わった。このことは耐震診断した業者が設計図にある体育館の天井下部材(積雪等で屋根から受ける圧力に耐える為に必要な「はり」)が建物には入っていないとの診断を受けていた。このことで工費費が大幅に増え1億4千万円という破格の見積となった。

質問 業者の見解が根を開いての工事になるので、壁・床まで影響が出る。これを受け教委は『手抜き工事の可能性も考えられる』と説明していた。この状況を憂いて一般質問で問う議員もいた。また新聞も記事として取り上げた。私も総合計画に中学校統合も加えるべきと発言し文言修正が行なわれた。

町内でも侃侃諤諤かんかんかくかくの論議が飛びかっていた。このような状況の下、業者の見解が大幅に変わった。①耐震強度数値は当町の建物としては妥当である。②天井下部材(はり)は設計図面の見誤りで最初からなかった。③しかし下部材は入れる必要がある。バレーボールは高さ8〜10m必要だが、工事後はこの高さが取れなくなる。校舎や第二体育館の診断にも疑問が残る。他の業者にも再診断願う必要がある。また、今後この業者を指名するのか?

教育長 指名選定委員会の管轄だが、貴重な意見として伺っておく。

医療費を使わぬ本町は

保険料を安く

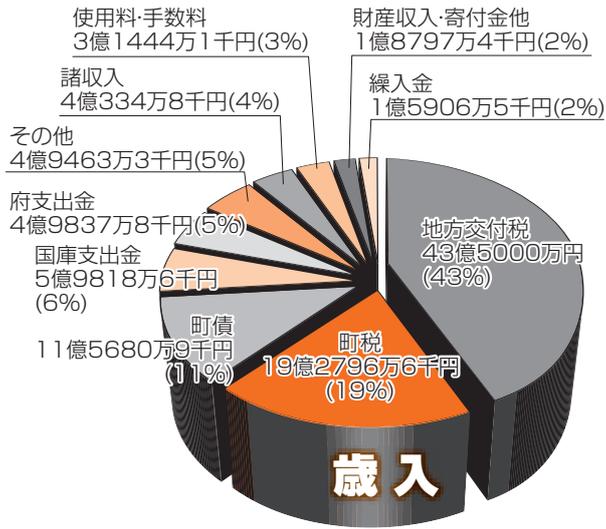
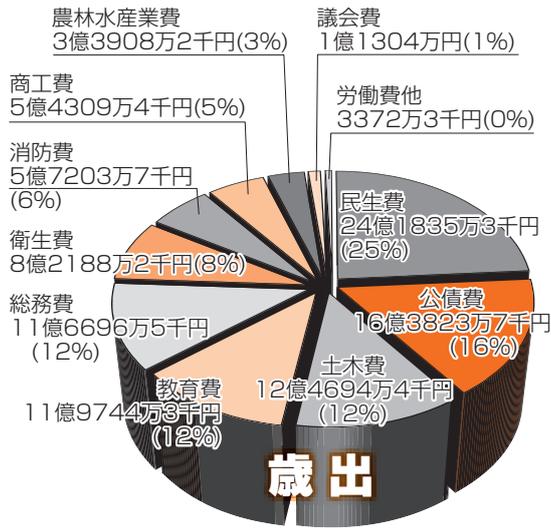
畠山 伸枝 議員

質問 後期高齢者医療の保険料だが、医療費を節約し他町より使わない本町ではもっと軽減すべきではないか。

保健課長 町の医療費はかなり低い。安くして欲しいと要望していたが、安くなるのも6年間だけ。今後声を出し意見も上げていきたい。

に10カ月を過ごすのは大事なことで5回になったことはよいこと。セットメニューとはどういう意味か説明を。
保健課長 1回目は妊娠してから16週までに、その後も定期的なタイムミングを合わせて出産まで見守るもので、5回分の券を配る。

一般会計予算



行政改革と総合計画の到達は 森本敏軌議員

質問 20年度は行革大綱と総合計画の遂行元年の年で持続可能な軌道に乗せなければならぬ。初年度から一気に4億円は厳しいと思うが、早い段階から近づけておくことが必至だ。初年度としては一杯の予算編成か。

町長 年に4億円の削減はハードルが高いが、トータル的に5年間で何とか20億円の削減をクリアしたい。小中学校等適正規模の検討など公共施設の統廃合、財産の活用と処分、経常経費の削減に工夫と知恵を出し庁舎挙げて取組み、町民の皆さんの夢に添えていきたい。精一杯の予算組と認識している。

事務事業の見直しを

質問 合併でサービスは高く、負担は低く調整された。今回の行革において自助共助の観点から事務事業の見直し調整が必要ではないか。

町長 サービスは高く負担は少なくて理想だが、今後は見直す必要がある。地域の事情も違いがあり、地域の声も聞き総合的に判断したい。

税金の還付指導は 勢嶺 毅議員

質問 個人住民税が税源移譲で2500万円還付の予算だが、申告があつて初めて還付される。このPRや指導はどうか。

税務課長 対象者と思える人には個々に、全体にも十分広報したい。

地方再生対策配分額は

質問 地方財政計画では「地方再生対策費」を創設し、市町村2500億円が確保され、活性化施策に必要な財源措置が報じられているが。

企画財政課長 人口・面積・第一次産業等の割合での傾斜配分もあつて、本町では1億100万円と聞いている。

遅れている地籍調査

質問 地籍調査が予定より遅れており、桑飼地区だけでもどの位かかる予定か。

建設課長 人的配置も少なく予算も難しく5年程度はかかる見込み。

公図訂正の負担は

質問 野田川・岩滝でも地籍調査の誤り、問題があつたと思われる箇所が出てきているが。

建設課長 明らかに地籍調査に間違いがある場合は、町の責任で直す。



滞納一掃へ全力! 税務課

新年度 会計別予算額

●一般会計100億9,080万円 ●予算総額190億5,119万円

会 計 別	20 年度総額	19 年度総額	前年対比(%)
一 般 会 計	100 億 9,080 万円	103 億 800 万円	△ 2.1

■特別会計

簡易水道特別会計	9 億 8,198 万円	9 億 656 万円	8.3	
宅地造成事業特別会計	1 億 3,312 万円	1 億 5,501 万円	△ 14.1	
下水道特別会計	18 億 7,060 万円	18 億 308 万円	3.7	
農業集落排水特別会計	1 億 1,746 万円	6,002 万円	95.7	
介護保険特別会計	事業勘定	19 億 6,034 万円	19 億 1,187 万円	2.5
	サービス事業勘定	1,199 万円	1,691 万円	△ 29.1
土地取得特別会計	171 万円	228 万円	△ 25.1	
石田土地区画整理事業特別会計	3 万円	3 万円	0	
国民健康保険特別会計	事業勘定	28 億 8,475 万円	25 億 7,189 万円	12.2
	直診勘定	7,996 万円	7,741 万円	3.3
老人保健特別会計	3 億 9,663 万円	22 億 1,969 万円	△ 82.1	
後期高齢者医療特別会計	2 億 3,272 万円	-	皆増	
財産区特別会計	893 万円	893 万円	0	

■水道事業会計（公営企業会計）

収益的収入	1 億 5,129 万円	1 億 4,678 万円	3.1
収益的支出	1 億 7,643 万円	1 億 6,626 万円	6.1
資本的収入	1,069 万円	2,089 万円	△ 48.8
資本的支出	1 億 374 万円	8,511 万円	21.9

※端数整理のため表内計が一致しないものがあります。



どうする町の観光

図書館は生涯学習の場
質問 図書館は子どもからご年配まで、生涯学習の場として有効に活用していたいただける配慮が必要。
教育推進課長 利用者に配慮した改善を図る。加悦分室の位置の移動も今後の課題として考える。

企画財政課長 職員がで
 きる範囲については職員
 でやっている。今後見直
 しも含め強化する。

質問 地域バスの運行はいつ頃になる?
いつになる地域バス

質問 「住民の声」を生かす上で行政参画は
 欠かせない。地域協議会の位置づけ役割を鮮
 明にし、本格的に取り組むべきでは?
町長 現時点、決めてないが、住民参画の
 上でも重要であり、今後充分、協議・具体
 化したい。

企画財政課長 本年度中に策定し、で
 きるだけ早く実施したい。
質問 深刻な不況下で、建設業者は廃
 業の危機だ。今後の除雪をどうする?
建設課長 対応を具体化したい。

住民の行政参画をどう進めるか 伊藤 幸男議員

こだわりのある観光施策を 家城 功議員

質問 観光関連の予算は多額。
 本年度は観光ビジョン策定委員
 会も組織され、当町の観光事業
 も本格的に骨組みされる。観光
 とは、町全体がこだわりの持ち
 徹底することが大切であると思
 える。また費用に対する効果も
 求められる。担当課としての考

えは。
商工観光課長 農業や織物との連
 携した観光をと考えている。多く
 の方が魅力を感じていただけるよ
 うな観光ビジョンを策定したい。
質問 計画等の委託料が各分野に
 ある。職員でやれること
 は職員でやり、経費の削
 減を図ることが大切では。
企画財政課長 職員がで
 きることは職員で

岩滝、野田川地域にも光ファイバーが

谷口忠弘議員

質問 いよいよ町全域で自主番組インターネット、地デジなど、安価な有料サービスが実現するが、いつ頃の予定か。

企画財政課長 平成23年3月頃に開始予定。

質問 投資額は、財源は。

企画財政課長 およそ20億円程度、合併特例債で。

質問 私の試算では運営経費は、低い加入率でも十分採算がとれると思うが。

企画財政課長 およそ2地域で約43%、74%あれば借金返しも可能である。

存続可能かクアハウス

質問 本年度の収入見込みが甘く計上されている。収支状況が昨年よりも悪くなると思うが。

商工観光課長 職員一丸となって努力したい。

質問 年間4千万近い赤字と今後の設備更新を考えると、存続が可能か。

商工観光課長 抜本的改革と今後は指定管理者への移行も考えたい。



充実される KYT 発信局

町民一人当たりの借金はいくらに

浪江郁雄議員

質問 新たな借金により残高はいくらになり、そのうち、国からの交付税算入を差し引いた額は、町民一人当たりいくらになるか。

企画財政課長 19年度末の特別会計を含めた残高は304億円。そのうちの162億円は交付税算入で措置されており、差し引くと一人当たりの借金は約56万円になる。

自販機の収益は

質問 川崎市では、自販機設置スペース貸出料が、一台あたり年間3万円から、入札により41台で5000万円に。スペースの有効活用で収入増を。

総務課長 無料で貸している所、売り上げの一部を頂いている所などあり今後検討する。

電気料金の削減

質問 街路灯・防犯灯な

どの定額電灯は、年間一括払いでの割引が期待できないか。

建設課長 3600基の電気代は、1カ月約90万円。割引ができるのかどうか研究してみる。

オストメイト対応

質問 オストメイト対応トイレが設置されるが、福祉課長 人工肛門などに、各庁舎の障害者トイレを改造する。

幼保にAED設置

質問 幼稚園と保育所に

合計10台設置。財源は。
企画財政課長 今回も府の未来づくり補助金を予定。

妊婦無料検診が拡充

質問 無料検診が5回に拡充される。里帰り出産など町外受診の場合は。
保健課長 府内は無料券で。府外は償還払いに。

成人式の時間について

質問 身支度の都合上、18年度同様に午後開催にとの要望があるが。
教育推進課長 諸事情を考慮し午後開催で考える。





期待される加悦ファーマーズライス

冷凍米飯加工施設の空調機改修は

小林 庸夫 議員

質問 同工事費が計上されているが、会社も若干の負担はできないものか。設備の劣化、更新、修繕を今後どうするのか。町が維持せねばならないものか

否か、根本的に考えねばならない時期がくる。

農林課長 大規模な設備改修と認め町において改修する。財源は辺地債。

織物業の振興について

質問 業者の意識は今日のことにも目いっぱい状況。いかに自立を育むのか、励ますのか、行政と民意と乖離していないか。

商工観光課長 産業振興補助金を設けている。商工会との連携で協業化を進める方向で支援したいことと、業界に合ったニーズを聞きセミナー開催などを考えている。

企業立地推進事業

質問 「水・緑・空」も町の資産だが笑顔輝く若い青年たちという町の将来を担う大きな資産を生かす環境づくりが行政に課せられた大きな役目かと思うが。

町長 若い人それぞれ夢があるのでそれが叶う役割も大事。

家滝池の土砂崩落改修

質問 弓木地区の池で丹工岩滝加工場の重要な水源。精錬・染色に適した素晴らしい水であるが、最近の上からの土砂流出を止められないか。

野田川ユースセンター

質問 宿泊者の寝具で冬季浴衣だけでは寒い。半纏・どてらを有料でも備えることはできないか。

商工観光課長 意見として持ち帰りたい。

障害者の重い負担をなくせ

野村生八 議員

質問 自立支援法で、サービス利用料1割負担ができて、利用者の利用が見直しに向け、改善が必要では。

福祉課長 負担が増え、サービスを受けにくい実態はあるだろう。町としてはできるだけだけの対応をしていきたい。



施策の充実に期待!



与謝野町第1回駅伝大会

有吉 正議員



一昨年度の大江山登山マラソンより

質問 3月20日福知山市大江町で第19回大江山女子駅伝が開かれ、参加は26チームで大阪、京都、近隣市町から広く参加がある。ひと月ほど前にあった男子駅伝も同様、参加チームに広く門戸を広げている。

与謝野町の駅伝大会はどのような運営をされるのか。

教育推進課長 大会は体育協会主催で、日程も決まり、16区間で小・中学生・一般のチームで、新しい町を盛り上げていこうと、旧町縦断のコースを考えていると聞いている。

有線テレビの番組

質問 議会、入学・卒業式などの放映だけでなく、先ではCM料をいただいで番組の製作を。

加悦地域振興課長 今は商工会を通じて、まちの案内の中で、文字のCMを流している。今後は町全体の番組審議会として諮っていききたい。

リフレかやの里

上山光正議員

質問 19年度の事業実績は79万円の決算赤字、20年度も楽観は許されないが、今後の展開は。

農林課長 今期2月末現在で500万円を越える赤字状況、3・4・5月は順調な時期、期待したい。

クアハウス岩滝

質問 抜本の見直し以外に打開策はないが、健康増進施設の続投か、三セク、売却か町長に伺う。

町長 今ある施設を有効に使うことを考えたい。

シーサイドパーク

質問 都市機能用地に「道の駅」、日本最古のガラス釧くし及び大名行列の道具展示館、クアハウス、ちりめん街道リフレかやの里、江上文庫、つばきの里など観光資源を生かし、リンクした周遊券発行など、観光与謝野町の道のりは遠いが、この点は。

建設課長 20年度で都市機能用地を測量しながら、どんな計画ができるか資料づくりがしたい。

喫煙所装置借り上げ

質問 歳出の抑制に全能を傾ける時、有害の喫煙所装置借り上げ料15万9



好評な昼食バイキング! リフレかやの里

千円の予算に対し、現実を直視した回答を求める。

京丹後市は、4月より公共施設は全館禁煙。

町長 禁煙は半強制的、自主的にこなうもの、別に法律に違反してないので予算は執行する。

情報の共有で 一体感醸成を 期待

井田 義之 議員

質問 待望の全町光ファイバー事業が始まる。21・22年には接続可能となる計画だが、各戸の負担はどれくらいか。

加悦地域振興課長 加悦の現状では工事費約1万5千円、加入料1万円。毎月の使用料がテレビ千円、インターネット2千円であり同程度が推測される。

生ごみ・祭日の収集を

質問 月曜日は祭日が多く、特に夏、困っている。以前から祭日の収集を要望しておいたが。

住民環境課長 海の日・体育の日・成人の日ほか、年末等も含め、早期実現の方向で宮津市や収集業者と調整中である。

新年度「一般会計予算」

賛成討論

暮らし優先で、財政に配慮した予算

日本共産党議員団 伊藤 幸男 議員

昨年参院選で「地方の反乱」が示されたが、自民・公明の政府新年度予算は「構造改革」路線に固執し、暮らしと社会保障の削減や地方交付税の削減方向も継承している。格差と貧困が進む中、日本共産党は、経済の軸足を大企業でなく、国民の暮らしに移すよう提案している。こうした下で、本町の新年度予算は、地域協議会や財政など課題が山積しているが、妊産婦の無料検診拡充やKYTテレビの全町化計画、高齢世帯の大型ゴミ収集などを計上している。よって賛成する。

新たな地域情報化計画策定

与謝野クラブ 多田 正成 議員

本年度予算案は第一次総合計画、行政改革大綱実施元年と経費削減策、新たな事業実施計画に基づき大変厳しい予算配分となっている。国政もゆれ動き、国際的にも信用を落としかねない我が国の現況と地域経済の衰退から町民の暮らしを守り、安心安全な町づくりのために太田町政の持続可能な発展と水・緑・空・笑顔輝くふれあいの町に向けて更に期待をしている。まず財政の健全化を図り、より良い施策の推進に努めていただき、本年度予算を評価し賛成討論とする。

特別会計

《簡易水道会計》

制度改悪で、また地方負担増になる 伊藤 幸男 議員

質問 28年から国の制度改悪で山間地の簡水会計が水道会計になる。国の補助事業がなくなるが。

水道課長 既に対応しているが大変困っている。

《国民健康保険会計》

後発医薬品の使用を

勢旗 毅 議員

質問 シネリック医薬品について国も処方箋の変更もし、使用の促進を図っている。使用勧奨を積極的に図るべきでは。

保健課長 現在ではやはり最新の薬を使われる医師が多い。

メタボ対策、成果によりペナルティか

畠山 伸枝 議員

質問 メタボリック症候群と診断された人に適切な指導をし、成果が上がらなければ、後期高齢者医療支援金負担が10%増額と聞いたが。

保健課長 最高で10%の負担増になるが指導期間が5年間あるので、実際の負担は6年後になる。

後期高齢者医療で国保税引き上げ

野村 生八 議員

質問 後期高齢者医療制度が始まり、国保会計は京都市など都市部では負担が大幅に減り、与謝野町のように地方では負担が増える。特定検診でも負担が増やされる。国の政治により、負担が増やされ、国保税を引き

上げざるを得ないのは納得できない。町として、できるだけだけの支援をすべきでは。
町長 大きな負担にならないよう、できるだけ見直しをかけた



あなたの腹囲は何センチ？

《石田土地区画整理事業会計》

いつまで続ける進展のない特別会計

井田 義之 議員

質問 数年間進展がない。道路だけでもの要望もある。休止して一般会計で処理出来ないか。
企画財政課長 条例により特別会計を設けている。基本的にはこのまま続けたい。但し将来に見通しがあれば一般会計に繰り入れることは可能。



《財産区会計》

財産区の予算、なぜ議会に提案？

井田 義之 議員

質問 一部の財産区だけが提案されているが。
企画財政課長 財産区は特別地方公共団体であり、独自の議会がない場合は、町議会において議案の審議、議決をするよう、法で定められている。

《下水道会計》

将来的にも赤字が続くがどうする

伊藤 幸男 議員

質問 当初計画では、多額の住民負担を避けるため、料金を安く設定してきた。そのため将来的に100%加入しても赤字にならないが(全国的でも)。
町長 町村会などで国へ要望していきたい。

水洗化普及率の上昇を

上山光正 議員

質問 供用開始地域の生活雑排水の接続を最優先すべく、^{から}空水量の無駄を抑制するとともに、将来の子ども達に、豊かな与謝野町を手渡しができる取り組みとは。

町長 今後、1軒でも多くの家庭に接続願えるように、職員を上げて努力をして行きたい。



不況下で進めぬ水洗化

香河川改修で遅れた

石川上地地区 井田 義之 議員

質問 平成24年以降の計画だが、繰り上げて早くならないか。
下水道課長 今年度は見直しがあり、早く実施できるように努力する。

岩滝城山テニスコート

質問 利用者の多いトイレ。下水道接続を早く。
建設課長 建物の老朽化もあり、併せて検討する。
町長 できるだけ早く考える。

《後期高齢者医療会計》

高齢者医療制度は重大な

問題がある

伊藤 幸男 議員

質問 全国で500を超す地方議会で見直し・中止の意見書が出され、高齢者、医療、福祉の団体も反対。怒りが広がっているが。

町長 できるだけ親切に窓口対応したい。国にも要望したい。

「包括払い」という治療

制限は問題

畠山 伸枝 議員

質問 病気ごとに治療費の上限を決めて「定額制」にするのが包括払い。上限は6千円で、その範囲内しか保険がきかないというものだが、どのようになっているのか。

保健課長 国からは包括払いの情報は一切ない。

高齢者の命を守れ

野村 生八 議員

質問 高齢者は使える医療費に限度額が決められ、行きたい病院に行けなくなる制度である。自分が望む医療が受けられない、命に差別をする制度だ。

国の政治は、道路を造ることには熱心だが、高齢



いつまでも元気で!! みんなの願い

者の命を守ることに興味が無い。戦中戦後、命をかけて国を支え働き、余生を楽しく暮らすべき。高齢者になれば国から見捨てられる、こんなひどい政治や制度は変えなければならぬ。

保健課長 現在は、今まで通り医療を受けられる。
町長 おかしいことは国にもものを言っていく。

特別会計での、他の質疑者

多田、森本、服部、廣野、今田、赤松

一般会計 5号 3,213万円の減
 国民健康保険 4号 3,464万円の増
 老人保健 4号 5,274万円の増

3月 補正予算

●3月の補正予算

【単位:万円】

補正予算名	補正額	累計総額		
一般会計 5号	▲3,213	103億5,897		
特別会計	簡易水道 5号	▲1,060	9億8,027	
	下水道 4号	1,915	20億7,489	
	農業集落排水 2号	2,323	1億6,150	
	介護事業勘定	1,083	19億8,902	
	保険4号 サービス勘定	▲421	1,269	
	土地取得 1号	▲69	159	
	国民健康事業勘定	3,464	27億2,914	
	保険4号 診療所	340	8,993	
	老人保健 4号	5,274	24億6,678	
	財産区 1号	3	895	
	水道事業 3号	収益的支出	985	1億8,417
		資本的収入	▲520	1,569
資本的支出		▲960	8,559	

補正予算では、ケアハウス関連収入の大幅減や、廃棄物広域処理委託料などをめぐり今までの運営について熱心な論議がされ、特別会計も含め全員賛成で可決しました。

ケアハウス岩滝



ゴミ広域化事業の新たな負担金は

伊藤 幸男 議員

質問 宮津市が住民に説得できず、そのツケを2町にも負担させるものだ。

町長 経過では問題だが、現時点、合意した。

その他の質疑者

畠山、小林、勢籾、
廣野、野村、井田



宮津清掃工場

業務委託料の中身を厳しくチェック

谷口 忠弘 議員

質問 固定資産評価更新の委託料は毎年多額である。どこへ、また、どんな内容の業務なのか。

質問 お願いしている。お願している。随意契約と聞いているが、職員のできる範囲もたくさんあるのでは。

質問 各自治区で責任補償額がバラバラであるが、**総務課長** 統一する方向で考えたが、まともな方向で努力したい。

税務課長 一度業者に行き、勉強し精査したい。

税務課長 大阪の業者で毎年細かい項目について、評価更新に関わる業務を

収支の向上に努力を

森本 敏軌 議員

質問 クアハウスの入館料が当初7600万円計上されているが状況は。また、収支のバランスは。

商工観光課長 過大見積もりがあった。収支は今のところ3500万円ほどの持ち出しになる。**質問** 収支の向上が重要で、今後の対応策は。
商工観光課長 経常経費の削減に知恵を出し、健康増進の点から価値を高めるなど対応し、指定管理者制度の導入の時期に考えていると認識している。

クアハウスの採算分析

多田 正成 議員

質問 毎年赤字が増え今期も3500万円の損失、もともとの施設は年間毎日700人程度の利用がなければ採算の取りにくい施設だが、今後どのように考えられるか。
町長 施設の目的主旨を大切に、町民の方に健康増進施設として活用して頂き費用対効果を健康促進に変えたい。

私立保育園に耐震助成

質問 公的施設、個人住宅には耐震診断費また補助金があるが私立保育園や託児所にも助成制度ができないか。
建設課長 現在のところ建設課では把握していないが福祉担当課、所管課と調整しながら、どういう補助金があるのか、検討していきたいと思っている。

ゴミ収集袋に名前を

質問 ゴミ収集場所に回収してもらえない袋が残るが、効果を考え不燃物と同じく回収袋に各戸の名前を入れるようにできないかとの声が出されているが。
住民環境課長 色々課題もあり提案がベストと考えるが、難しい。各町内隣組で話し合っって袋に番号を入れて名前代りにしておられる地域がある。できるだけ地域で話しあって工夫していただきたい。

補正予算を審議!

その他の審議案件

条例

(特別職給与の5%減額)

ムダの見直しが大切

家城 功議員

質問 真の行政改革とは職員数の削減や給与の引き下げも大切であるが、事業や経費の見直しや軽減を図ることが第一の課題と考える。職員の見直しや軽減も含め、この改正が有意義なものに。

町長 財政の立て直しが行革の本旨。ムダの無い有効な見直しが必要と考えている。年次的な計画の中で取り組んでいく。

町民に理解得られる 給料の減額

有吉 正議員

質問 町長・副町長・教育長の給料の5%減額の改正だが、附則の「期末手当の算定は改正前の額とする」では、町民の理解が得られない。近隣市町も同様のなか、

副町長 近隣市町は減額した額で期末手当も算定している。減額前の給料に差がある。ご理解を頂きたい。

(賛成多数)

(一般職給与の3%減額)

臨時職の待遇どう改善

勢旗 毅議員

質問 役場の業務も非正規の職員に大きく頼っているが、年収も低くこの改善はいつしても必要。

総務課長 20年度では日額を増やすのと、通勤手当も支給するよう予定している。

(全員賛成)

町職員の給与に関する条例の改正

小林 庸夫議員



待ったなしの高齢化はどんどん進むなかで、現役世代の減少と地域をとりまく著しい経済基盤の沈下など町の借金約304億円。貯金23億円を少しでも改善する手だてを講じないことには、我々は勿論、若い世代に重い荷を託すことになるのは目に見えている。

与謝野町と類似団体との比較表をみても人件費が住民一人あたり1.3倍と高い数値であり民間給与との格差も見られることなど、行政改革とあわせ今後の財政状況を勘案されたの苦渋の提案と受け止め賛成する。

(議員報酬の5%減額)

行政改革の推進に取り組むため、議員報酬を5%減額する。

(全員賛成)



新たに指定管理へ

(指定管理制度)

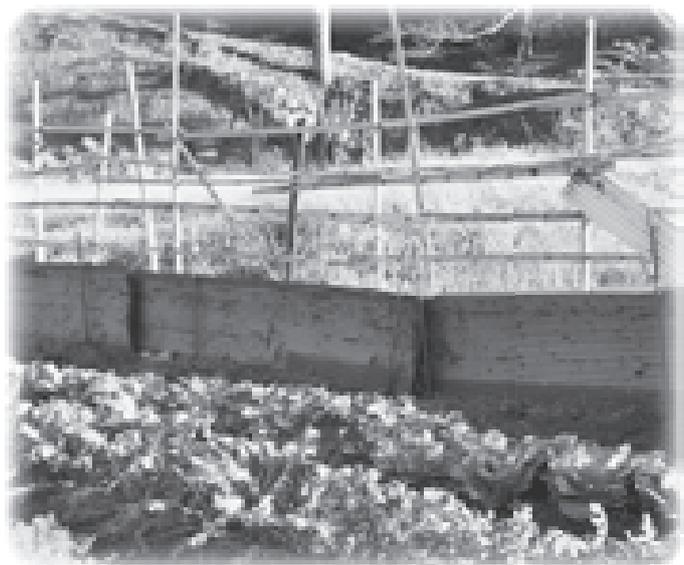
一字観公園の指定管理へ

多田 正成議員

質問 今回指定管理者制度に移行されるが、どのような締結に。また、制度の主旨が充ちいかされるか。

商工観光課長 地元12名の方が運営委員会を組織し、今後、法人化を考え運営する意向も聞いている。指定管理料255万円で管理運営を担ねることとしている。

(全員賛成)



深刻化する鳥獣被害

陳情書

鳥獣被害防止特措法関連予算を鳥獣捕殺ではなく、被害防除に使われる事を求める

(提出者)

日本熊森協会会長

森山 まり子

後期高齢者医療制度廃止法の制定を求める

(提出者)

京都府保険医協会理事

関 浩

請願書

子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための予算・整備充実を求める

- 一、町独自の30人学級の早期実現を
- 二、教育予算を増額し保護者負担の軽減を加配教員の充実と支援、サポートができる体制や施設を
- 三、耐震改修の早期実現と豊かな教育施設への改築を
- 四、危険遊具の撤去、新設を早急に
- 五、危険遊具の撤去、新設を早急に

(提出者)

与謝地方教職員組合

浦島 清一

(審査の経過)

文教、厚生常任委員会に付託され、提出者から説明を受け質疑終了後、審査し採決を行なった。

結果、一・二・三については、対応済や理解できないとして不採択。四・五については採択すべきと決定した。

質疑 伊藤

(賛成多数)



ゆきとどいた教育を

30人学級など緊急の課題

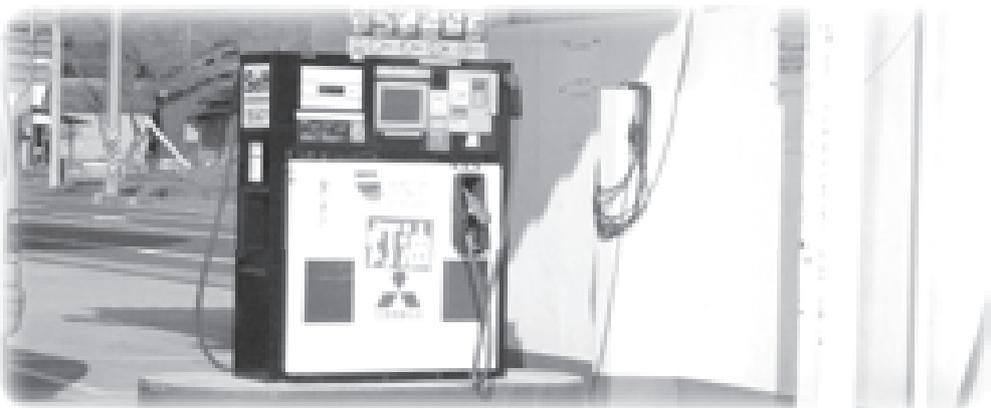
富山 伸枝 議員

賛成討論

子どもをとりまく状況は厳しく、受験戦争の中でストレスを抱えての不登校や、いじめによる自殺等が社会問題となっている。また不況の波は家庭にも押し寄せ、教育費の父母負担が家計を圧迫するなど緊急で切実な課題となっている。

30人学級の実現、教育予算の増額、特別支援が必要な子どもための加配などの要求は、どれをとっても切実な願いである。本来ならこの請願そのものを採択すべきと考えるが、一部採択もやむなしとして賛成する。

第14回(平成20年2月6日)臨時会



原油高が生活を直撃！

- ◎ 一般会計補正予算1件(予備費で充当)
- ◎ 上下水道事業各1件
- ◎ 簡易水道工事契約3件を審議した。

〔審議の主なもの〕

一般会計補正予算

●2月の補正予算

【単位:万円】

補正予算名	補正額	累計総額
一般会計4号	±0	103億9,110
簡易水道4号	5,170	9億9,087
下水道3号	2億5,870	20億5,573
水道資本的支出	1,009	9,520

*「福祉灯油」購入費補助

850万円

灯油など価格高騰により生活が不安定になる。特に低所得者世帯を対象に灯油購入費補助を追加するもの。

内容は、町民税非課税世帯で、65歳以上で構成された世帯、障害者が構成員の世帯、18歳以下の子どもと父、母のいずれか一方で構成される世帯、被保護世帯に原則として1世帯当たり5千円の補助をする。

質疑者

野村、家城、赤松、有吉、井田、上山、今田

(賛成多数)

意見書案

道路特定財源制度や 暫定税率の確保に関する意見書(案)

(趣旨)

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基本的で重要な社会基盤施設であり、道路網の整備・充実、広域的な地域間連携、文化交流、商圏の拡大などを促すとともに、安全で快適な環境づくりを推進し、地域力を再生するために必要不可欠である。

(全員賛成)



明石香河線

[質問議員と内容]

丹後地域公共交通総合連携計画を問う
服部 博和 議員

元気な経済を起こす名案はないか
小林 庸夫 議員

岩滝大名行列の位置づけは
上山 光正 議員

学習指導要領改定でどうなる
畠山 伸枝 議員

持続可能な地域農業の活性化を
森本 敏軌 議員

小規模企業応援プランの有効活用を
浪江 郁雄 議員

防災訓練は町全体が同じ意識で
家城 功 議員

疲弊する地域経済の活性化を問う
多田 正成 議員

学校統合配置の検討を
廣野 安樹 議員

利益優先から温暖化など環境優先に
野村 生八 議員

町内の児童遊園地の遊具は安全か
谷口 忠弘 議員

税務共同化の利点
赤松 孝一 議員

人員削減職員の構えどう構築
勢籾 毅 議員

加悦中学校の耐震対策を急げ
今田 博文 議員

後期高齢者医療制度の中止・撤回を
伊藤 幸男 議員

学校再編協議、内容とスケジュール
井田 義之 議員

3月定例会は16人が質問しました
ここが聞きたい



服部 博和 議員

丹後地域公共交通総合連携計画を問う 利便性向上策を支援して行く



乗って残そう KTR

服部 環境と調和した公共交通は不可欠である。特に鉄道は輸送効率が高く、エネルギー消費も少ないことから、環境に優しい極めて重要な地域の足として欠くことはできない。
KTRは創業以来赤字が続き、利用者も毎年減り続けている。さらに車輛の劣化や、信号等に更新が指摘されている。
うわさの域を脱しないが、由良川鉄橋の耐用年数に伴い、舞鶴路線の廃止までささやかれるようになってきた。

そのような四面楚歌にあつて、国交省より「わかりやすく使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」が支援を受けることになった。
この団体は丹後二市二町と府・交通事業者・利用者・有識者等で構成。事業は、パターンダイヤの導入、接続改善、バス停の移動、路線、乗り替え、駅の美化等の改善を図って行くこととしている。
この活動と連動することで駅周辺の再開発をトータル的に考え、電化も包含した所のパーク&レールの推進に全力を願う。
町長 便利な乗り物、使える乗り物として、客に選択していただけるよう利便性向上策を支援する。



上山 光正 議員

岩滝大名行列の位置づけは 実施計画の中に盛り込んでいる



23年に実施できるか?

上山 古文書で
は、天保

非常に貴重な生きた文化
遺産である。
与謝野町は、奴の所作・

6年(1835)
徳川幕府の時代、
諸大名の江戸参
勤交代の行列を
模して、絢爛豪

道具を有形無形文化財と
して後世に伝承されるの
か、それとも骨董価値に
留められるか。

と記録されている。

華に村内を練り
歩く式があった

町長 与謝野町は、平成
23年度に開催を考

古式に則り大名行列を
再現(総勢約350人の
時代絵巻)できる町は、
全国でも他に例を見ない

えているが、昨年開催さ
れた岩滝地域の区長会の
方向性は、早期開催せず
現時点では、予定通り10
年毎に(前回平成13年)

と確認をいただ
いている。

観光イベント
的な効果も充
分承知しており、
町の活性化への
貢献も少なから
ずあると思う。
骨董価値にと
どめず、大変貴
重で伝統的な生
きた文化遺産と
して、奴の所作
を後世に引き継
いでいただきたい。

持続可能な地域農業の活性化を 集落営農で自然循環農業の推進を講じたい



森本 敏軌 議員

森本 農業後継者や認定
農業者の育成や集
落営農組織の推進と、経
営所得安定対策など国の
施策に町の裁量を發揮し、
経営安定が図れる持続可
能な農業活性化は。

ど自然循環型農業を推進
し持続可能な農業施策を
講じたい。

町長 当町には集落を基
盤とする農事組
合など関連組織が多く、
色々な事業を通じ集落営
農へつながるきっかけに
なる。国が描く担い手に
はこの営農組織も含まれ
る。これらをクリアする
ため、豆っこ米の生産な

森本 織物など経済情勢
が厳しく、閉塞感
を呈しているが打開策は。
町長 新商工会の発足を
契機に一層の連携
を強化し、商工と観光の
連携が不可欠で、町民と
の協働で新たな打開策を
見出したい。

特定検診・保健指導は
森本 本年四月から特
定(メタボ)検診
と保健指導が実施される。
町民の健康と医療費の抑
制は。
町長 国保加入の町民を
対象、メタボ該当
者には10%の人に効果が
上がるよう指導、生活習
慣病の予防で一定医療費
も削減できる。保健指導
と予防教室を積極的に行
いたい。



循環農業基地



家城 功 議員

防災訓練は町全体が同じ意識で 自分の財産や命は自分で守る気持ちを

家城

災害は突然の出来事。特に地震は一瞬にして周りの環境が一変する。人はパニックになり、家屋崩壊や火災等の発生も想定される。水害や土砂災害も同じこと。さる3月2日に町内一斉防災訓練が実施されたが、本来防災訓練とは、実際の災害に対し地域や施設、住民が一体となつた意識の下で取り組むべきでは。

町長 今回の参加者は延べ約500人。災害発生時は、基本として自分の

財産と生命は自分自身で守る。地域や施設も各地区が自主的に連携体制をとっていたことが重要と考えている。まず災害発生時には何をすべきかをそれぞれの立場で、真剣に受けとめ考えていただくことが大切である。公助の分野で行政のすべきことは協力する。

家城 学校等についても日頃の取り組みや考え方が必要。指導体制は。

教育長

学校での訓練は基本的な分野でやっている。臨機応変な対応をすべきと考えている。校園長会議でも指導の徹底を図りたい。



いつ災害が起きるかも

学校統合配置の検討を 本年度を目途に検討する



廣野 安樹 議員

廣野

教育環境の整備も総合計画審議委員会等で答申される中、地域と共に楽しい学校、明日の人材を育てる教育で、学校適正規模配置検討委員会(仮称)が、本年度の予算にある。

過日宮津市の統廃合が発表されたが、検討委員会(仮称)の立ち上げはいつ頃か。また、メンバーの構成は議員も入れるべきと思うが。

町長 本年度を目途に検討する。諮問機関ではなく、検討機関として位置付け、学識経験者、PTAの若い保護者に、学校、保育所のあり方にも提言願ひ、議員も加味して検討する。

岩滝の水道料金は

廣野 岩滝地区の水道料金が見直し、検討と聞くが？
町長 水の需要も横ばいで財政も赤字の経営にあり、赤水対策、石綿管の布設替を行っている状況だ。具体的な料金の見直しは新しい財政計画のもと、料金の算定を行い、上下水道審議会に諮り決定していくが、基本料金は簡易水道並みに考えている。



老朽化のはげしい山田小学校

町内の児童遊園地の遊具は安全か 危険遊具は早急に撤去したい



谷口 忠弘 議員

谷口 町内36ヶ所116基ある遊具のうち、安全なのは僅か6基と聞いたが、撤去・事故の責任所在は。

町長 管理は地元で、事故については町の保険で対応する。撤去については全額町の負担、新設については、3分の1が地元負担で、自治振興補助金が使えるので検討してほしい。

谷口 撤去を急がないと事故を招く。また、現在鉄の引き取りが最高値で約30円/kg、一施設当たり約2万〜3万円程度になる。今がいいチャンスと思うが。

町長 危険なものから随時撤去したい。鉄の処分も有利なうちに考えたい。

加悦加工場の跡地利用は

谷口 とう心工場の進出から8年経過するが、未使用地がかなりあり、会社と一度相談されては。

また、京都府と土地の買い取り約束があったのが。

副町長 時間もたつたので一度協議の場を持ちたい。府の意向はあるが、買い取りは財政上むずかしい。

新年度の商工振興策は

谷口 昨年町の融資制度がなくなり、今後多額の預託金の有効利用が望まれるが。

町長 有効に活用したい。新年度では、不況対策利子補給など新しいメニューを用意している。

人員削減職員の構えどう構築 事務事業の見直しを含め今年中に方向性を

勢籜 行革大綱が示され職員の削減について、平成30年には230人が目標値とされているが、適正な職員数の考えは。

町長 合併時323人であったが4月1日には295人の見込み。類似団体並の職員数にすべきと考えている。

勢籜 退職者の補充はどのような考えか。

町長 3割程度は新陳代謝もあって必要と思う。

勢籜 NPOとの連携についての考えは。

町長 BDF燃料にみられるように、今後はNPOとも協働し、行政施策を進めたい。



勢籜 毅 議員

法定外公共物の指導は

勢籜 平成17年度で里道・水路等国の資産が町に譲与された。住民にとっては大きなメリットだ。積極的に調査し、売却・占用手続についてPRし指導する必要がある。

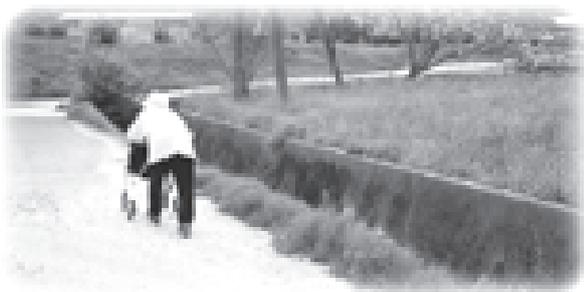
町長 広報については、一層推進し、個々の相談についても、少しでも財政的な貢献ができるよう、現地の確認、調査について強化していきたい。

勢籜 追加申請についての考えは。

町長 現に公共の用に供しているもの以外、管理を国が行うこととされていることから基本的には行わない。



無駄はないか事務事業



高齢者医療はどうなる？



伊藤 幸男 議員

後期高齢者医療制度の中止・撤回を 6年間の軽減措置。保険証取り上げはしない

伊藤

先の参院選で地方の反乱が起き、政府は地方再生を強調しているが、構造改革に固執し、一段と地方経済の衰退、貧困と格差が加速している。医療と農業はその典型例だ。

お年寄りを別制度に強制的に放り込む後期高齢者医療制度は、2年毎に見直される保険料、年金からの天引き徴収、保険証取り上げ、差別医療など重大な問題があるが、「保険証取り上げ」は一律的にはしない。検診は無料で行う。

国の農政転換を求めよ

伊藤 米価暴落で、農水省試算でも最低賃金の4割となる重大な事態である。自給率重視であった改正基本法だが、市場任せで、年々下がっている。世界の食糧危機や輸入食品などの対応でも遅れている。欧米並みに所得・価格補償の拡充や家族経営を含む支援策などに農政を転換し、自給率を向上させることを日本共産党は提案している。今の農政をどう見るか。

町長 食の安全や食料自給に貢献する産業として位置づけている。国の施策は必ずしも本町の実情に合っていると見え、もっと地方に一定の裁量権を与えることが望ましい。

元気な経済を起こす名案はないか 町の経済活性化に与謝野町商工会との連携で



小林 庸夫 議員

小林

原油・穀物類など資源の高騰から急激な物価高が各家庭に否応なしに押し寄せてきている。収入は少ない、生活費は嵩む借金返済もと人心の乱れにもつながりかねない環境のなか、元気づける方策は行政としてないものか。

情報のキャッチや能力開発・成功事例などのセミナーなどを繰り返し繰り返し開催し、意識改革の啓発をはかることが行政に求められると思うが。

町長 平成20年度に町の支援事業に人材育成メニューを新設するのは是非積極的に参加いただきたい。

小林

当町の企業誘致条例をみると固定資産取得価格5,000万円以上、雇用従業員10人以上が奨励事業所認可となっているが、もっと小さな規模でも進出しやすいレベルに変える、他の町よりも有利な条件に改めるべきではないか。

町長 企業誘致条例は実効ある認定基準へ緩和する意味で見直しが必要と考えている。

個々の直接的な財政的支援にならないまでも、困っている方に対して窓口となる行政であるべきだと思っている。

期待される商工会



学習指導要領改定でどうなる 基本的には、現行を重視



富山 伸枝 議員

富山 文部科学省が発表した改定案は、道徳教育の異常な押し付けの強化、小学校5、6年生からの英語、理数の総授業数が増加する等が主な内容。道徳教育をすべての教科や活動の中で行うことを明記している。愛国心の押し付けではないか。

教育長 教育内容や指導面について、より具体的な手立てを確立する観点からの改正。伝統や文化に関する教育や、道徳教育、体験活動の重視などの改善がある。学校の教育活動の主体性・自立性を大切にして、適切な管理と指導を行う。

過密労働の解決は

富山 午後9時になっても帰宅できない教師。家に仕事を持ち帰る教師。昼休みも給食指導で

慢性的な疲労を感じている教師の実態。解決の方法は**教育長** 効率のよい学校運営の工夫をお願いしているが、仕事が減るわけではなく、空しさを感ずる。

富山 親の苦情などに悩む教師が増加していると聞くが、「困った存在」と決めつけず、学校と親が一緒に解決できるようにするゆとりが必要では。**教育長** 個々の教師に任せず、学校として対応するよう指導している。



勉強にはげむ生徒たち

小規模企業応援プランの有効活用を 情報提供を含め、相談体制の強化を図る



浪江 郁雄 議員

浪江 中小企業対策の一つに

「頑張る小規模企業応援プランの推進」がある。この新規事業は、IT活用による財務会計の整備や、円滑な資金提供に向けたマル経融資の迅速化、そして、きめ細やかな経営支援体制を構築するための拠点整備の三つの柱で構成されている。経営力の向上を支援するこのプランの有効活用を。

町長 行政としては、取り組んで頂く企業者の誘導役をさせて頂く。またその他の様々な制度についても熟知し、活用して頂くよう相談体制の強化を図る。

幼児ヘルメット助成を

浪江 4月1日から、「京都府自転車利用の促進に関する条例」の規定により、6歳未満の幼児を同乗させる場合は、ヘルメットの着用が義務となる。子どもを守るため、子育て世代への負担軽減のために、ヘルメットの購入に助成を。

町長 努力義務から義務化となり、補助は考えていない。努力義務である小学生には1500円の補助を、中学生にはヘルメットを支給している。



頑張れ! 地元企業

疲弊する地域経済の活性化を問う

一企業で利益を求める事は困難な時期

多田 地域経済の向上対策が今必要だが、基本的な対策をどう考えているのか。

町長 さまざまな企業が業務提携を図り経済安定に期待をしている。そういった状況の中で頑張る企業を応援していく。

多田 新産業の情報が必要だが情報収集策をどう考えているのか。

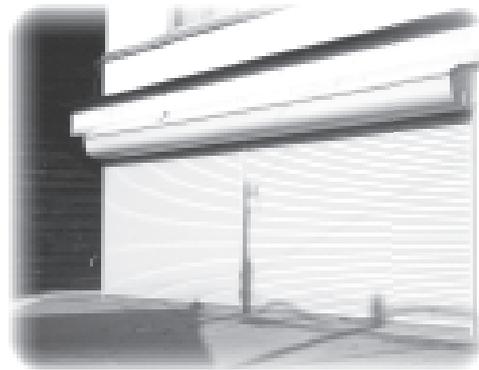
町長 企業とのネットワークを作りながら情報の共有を図っていく。

多田 北部産業技術支援センターとの連携は現在どのように取り組んでいるのか。

町長 昨年6月に完成された技術センターの紹介は当町のホームページでオンラインツアーに努めている。



多田 正成 議員



増加する空店舗

施設の管理運営は

多田 直営や委託管理費、指定管理費など財政出費が大変だが、今後の運営をどのように考えているのか。

町長 公共施設は住民の福祉を増進する目的を持って、その利用に御する施設であることから、設置目的の主旨に合わせ、ニーズに合った管理運営が必要で、民間のノウハウを取り入れ経費削減とサービスの提供が不可欠と考える。

利益優先から温暖化など環境優先に地球温暖化防止計画をつくる



野村 生八 議員

野村 地球温暖化は、石油や石炭などを元に、利益最優先で進めてきた大量生産、大量消費、使い捨て文化という社会の仕組みに原因がある。

日本の温暖化ガス排出は、電力業界や鉄鋼業界などが全体の約半分を占めている。政府は大量排出源となつている大規模事業所の排出規制を一刻も早く強めるべきである。

自然エネルギーや生物資源のように、再生可能で循環し永続的に利用できる資源による文明を築くことが求められる。

与謝野町の温暖化対策の取り組みは。

町長 我が国の温室効果ガスは増えている。その要因は、排出が多い企業の責任を自主行動計画に任せてきたことにあり、削減に取り組まない企業を許さない世論の力が大切ではないか。

町では、今年度「地球温暖化防止行動計画」を策定し、具体的な行動計画と削減目標を定める。

また、ただちに取り組みることとして、バイオ燃料車を増やし、給油施設をつくる。

バイオマス構想の作成と実践を温暖化対策の柱として取り組む。



CO₂ 削減の課題は



税金徴収にまわる職員



赤松 孝一 議員

課題解消に向け大きな力 税務共同化の利点

赤松 人的出費、電算処理費など二重投資の恐れは。

町長 広域連合を設立し、府下市町村と府とが一体となり、課税から徴収まで共同処理をする。納税者の利便向上、滞納整理など、大きな力となる。

学校給食の課題 赤松 食料や燃料の価格上昇が給食に与える影響。

教育長 献立、食材の品目、数量を工夫して、値上げの抑制をしていきたい。

常勤特別職制度の設立 赤松 観光、企業誘致など産業振興の期待できる民間人の公募制度を提案する。

町長 民間公募制度は導入しない。

農業は食品産業 赤松 農産物加工所の建設。

町長 機運が整い方針が煮詰められは。

加悦中学校の耐震対策を急げ 検討委員会を立ち上げる



今田 博文 議員

今田 加悦中の耐震診断結果は第一体育館のIS値は0.09。0.3未満は地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高いとされている。

教育長 加悦中だけが特別の数値ではない。診断結果は、建物の構造上の指針となるもので、今すぐ倒壊する危険度を示すものではない。

安全対策は 今田 避難訓練や、物が落ちるなどの対策は。教育長 特別な安全対策はしていないが、避難訓練は毎年行っている。

体育館を早く 今田 学校の耐震診断はすべて終え、他の体育館の耐震工事は完了している。

教育長 災害時の避難場所として、体育館を優先してきた。加悦中は新築も考えの中にあり、検討の時間がほしい。

生徒は減らない 今田 江陽中、橋立中に比べ、加悦中の生徒は減らない。決断すべきた。

教育長 適正規模、適正配置を検討するにあたり今結論を出さずフリーに議論したい。

要望活動を活発に 今田 国、府への要望を、行い道路、河川の事業推進を。

町長 関係機関への強い要望が必要。



加悦中学校



井田 義之 議員

町長話し合いに進展の
目は全く立
ってないが、一
応内部で検討し、
合意を急ぐべき
と考えるが。

学校再編協議、内容とスケジュール まず検討委で試案、その後諮問の方向で

井田 学校再編検討委員会では、組合立橋立中
学校も協議の対象か。

教育長 宮津市の動向は動
向として、町とし
て協議は進め、その結果を
見て宮津市とすり合わせる。

井田 また小中一貫教育も
協議の内容となるの
か。

教育長 それも視野に入れ
た適正規模、適正
配置が検討されると思う。

井田 どんなスケジュール
で進められるのか。

町長 検討委でどんな規模・
配置が適正か検討さ
れ方向が示されてから町の
見解も含め諮問したい。

地盤沈下で気持も沈む

井田 平成8年度分譲の中
岡第二分譲宅地、地
盤沈下で新築家屋に被害が
出た。話し合い、



わが町にも少子化の流れが

しかるべき対応をしたい。

道に迷った中央線

井田 工事中断から20年経
過、見直しは。

町長 関係者の方の理解を
得られない現状だが、
新しい町づくりの視点で見
直しも探り、光の見える解
決策に向かって努力したい。

野田川最後の認定町道

井田 石川の亀山〜中地線、
将来に必要と認識。

町長 プラント、近隣の状
況等も考え計画的な
新設の方向に努力する。

お知らせ

次回6月定例会は、6月4日開催。一般質問6月11日・12日・
13日の予定です。多くの方の傍聴をお待ちしております。

2年間ありがとうございました。

平成18・19年度広報特別委員会



次号からは、新メンバー編集による議会だよりとなります。

平成20年度、岩滝幼稚園は年長児(きく組)32名、年少児(さくら組)30名でスタートしました。入園した頃は子どもたちの泣き声でとても賑やかでしたが、少しずつ園にも慣れ笑顔も見られるようになってきました。今年度も遊びの中で、力いっぱい活動し、丈夫なからだ、心豊かな子どもの育成を目指し子どもたち一人一人がいろいろなことに目を輝かせて、わくわくしながら生活できるよう取り組んで行きたいと思っております。



岩滝幼稚園 の紹介



まちの宝 子どもページ

市場保育所 の紹介



本園は、今年度98名の元気で可愛い園児と19名の職員でスタートしました。安心安全を基本に、子どもたちの持っている力を最大限、発揮できるような環境づくりに努め、その中で心身共に豊かな子どもの育成を目指して、がんばりたいと思っております。全保護者の皆様に年度当初お世話になり、本園の宝物の一つであるアスレチック山の環境整備をしていただきました。天気の良い日にはアスレチック山や砂場などで、全身を使ってのびのびと遊んでいます。年間を通じ様々な豊かな体験をする中で、五感を刺激することにより、この乳幼児期に十分発達を促し、学習の基礎作りをしていきたいと思っております。

編集後記

▼新町になって2年、この委員で議会広報の編集・発行を担当し、各委員の個性を活かし和やかなムードで取り組んできた▼議会申し合わせで委員会構成が変わり、現委員による発行は、今回号で最後になる▼議会広報とは、町の皆さんがいかに議会を身近に感じ理解してもらえかが大切だと研修会等で学んだ▼広報研修を重ね、表紙のカラー化や構成・文字の改善など、第1号と比べるとかなり見やすくなりやすいモノに仕上がったと自負している▼次号から新委員での編集になります。さらに皆さんに伝わる「議会だより」になるよう、引き続きたい。今後も皆さんのご意見・提案・感想をお寄せ下さい。2年間ありがとうございました。(家城)

議会広報特別委員会

委員長 家城 功
副委員長 畠山 伸枝

上山 光正
小林 庸夫
伊藤 幸男
服部 博和
浪江 郁雄